

『おかしな数字』を見抜くための

財務諸表の前期比較テクニック

～財務諸表をどのように前期比較分析すれば「おかしな数字」を発見できるのか～

◆開催要領◆

<日時> 2017年 3月 22日(水) 13:00～17:00

<会場> 「企業研究会セミナールーム」(東京・麹町) 東京メトロ麹町駅より徒歩5分

講師 (株)ヴェリタス・アカウンティング 代表取締役社長・公認会計士 山岡 信一郎 氏

【講師略歴】 1993年3月慶應義塾大学経済学部卒業。1994年10月公認会計士第2次試験合格 監査法人トーマツ(現有限責任監査法人トーマツ)入所。国内監査グループに所属。主に東証一部上場企業の監査に従事。東証一部上場企業では、大手メーカー、システム開発会社、技術者派遣会社等の現場主任として法定監査を行う。日本公認会計士協会実務補習所(現一般財団法人会計教育研修機構実務補習所)実務補習所委員として、補習所クラス担任に3年間従事するとともに、実務補習所の講師も担当する。2007年10月 監査法人トーマツ退所後、株式会社ヴェリタス・アカウンティング設立、代表取締役社長就任、弁護士の父とともに山岡法律会計事務所設立、パートナーとして就任。現在に至る。内部統制報告制度やIFRS(国際財務報告基準)についてのコンサルティング業務が中心となっている。また、上場会社の社外監査役、会計顧問も務めている。

◆ご参加頂きたい方◆

監査役、内部統制、内部監査、経理・財務、リスクマネジメント部門にご所属されているご担当の方々

●受講料 ●1名(税込み、書籍代含む)

一般社団法人 企業研究会 セミナー事務局宛

正会員	32,400円(本体価格30,000円)
一般	35,640円(本体価格33,000円)

申込書 FAX: 03-5215-0951

161724-0606	2017.03.22 財務諸表の前期比較テクニック		
ふりがな 会社名			
住所	〒		
TEL		FAX	
ふりがな ご氏名		所属 役職	
E-Mail			
ふりがな ご氏名		所属 役職	
E-Mail			

■参加要領

申込書はFAX、または下記担当者宛 E-mail にてお送り下さい。以下の当会ホームページからお申し込みいただけます。後日、(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送りします。

- *よくあるご質問(FAQ)は当会ホームページにてご確認ください。([公開セミナー] → [よくあるご質問])
- *お申込後のキャンセルはお受けしかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理の方のご出席をお願いいたします。
- *最少催行人数に満たない場合には、中止とさせて頂く事もありますので、ご了承下さい。

■お申込・お問合せ先

一般社団法人企業研究会 セミナー事務局
(担当)鈴木 E-mail:a-suzuki@bri.or.jp
TEL:03-5215-3550 FAX:03-5215-0951
東京都千代田区麹町5-7-2 麹町M-SQUARE 2F

※申込書にご記入頂いた個人情報、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。
※申込書をご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

【開催にあたって】

3月22日
(水)

13:00

『この数字、何か変だぞ?』…一見正しそうな数値に潜む不正・ミスを見逃さないためにどうしたらよいのでしょうか。当講座では、決算書類のうち財務諸表に焦点を絞り、限られた情報、人員および時間のもとで、財務諸表をどのように前期比較分析すれば「おかしい数字」を効果的・効率的に発見できかについて実践的なテクニックを学んでいただきます。子会社から提出される連結パッケージや、取引先の財務諸表だけを読んで、「おかしい数字」がないかどうか、分析しなければならないご担当者の方に最適な講義内容となっています。尚、サブテキスト書籍として、講師著『おかしい数字をパッと見抜く会計術』（清文社）を当日配付します。

1 財務諸表分析の基本は前期比較

- ・前期比較の実施方法
- ・前期比較を実施する上での留意点

2 前期比較をする前提としてのチェックすべきこと

- ・数字を見る前に必ず確認しなければならない事項
 - 連結パッケージを見る際、特に意識しなければならないポイントも確認します。
- ・貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、キャッシュ・フロー計算書の相互関係
 - 財務諸表間の数値の繋がりを確認しつつ、一致すべき金額が一致しているかという視点で財務諸表間の整合性をチェックします。

3 何を前期比較すればよいか

- ・勘定科目、財務指標の前期比較
 - 勘定科目別および主な財務指標の前期比較を行います。その際、貸借対照表と損益計算書との整合性、流動項目と固定項目、利益率の捉え方、回転期間などを意識して分析します。
 - 財務指標といっても様々ですが、ここでは比較的よく用いられるものを取り上げます。
- ・営業に関する項目
 - 売上高、売上原価、売掛金、買掛金、在庫の前期比較
- ・投資に関する項目
 - (投資)有価証券、有形・無形固定資産の前期比較
- ・財務に関する項目
 - 貸付金、借入金の前期比較
- ・前期比較することで明らかになること
 - 導き出される背景や問題点とは

4 オーバーオールテスト（推定値を使った検証手続）

- ・人件費、利息、減価償却費等に関するオーバーオールテスト実例
- ・推定値と実際数値との差異についてどう考えるか
- ・差異の検討の仕方

5 実際の財務諸表を使ったケーススタディ

- ・A社の例
 - 実際の財務諸表を使って、前期比較してみます。
 - 前期比較を行うことで、どういう背景が推定されるか、またどういう問題点が考えられるのでしょうか。

途中
休憩
あり

17:00

講師 株式会社ヴェリタス・アカウンティング

代表取締役社長・公認会計士

山岡 信一郎 氏